

インドネシアの最新情報

—火山活動，大学改革そして大統領選挙—

日時：平成26年10月29日（水）

15：30～16：30

講師：エミー・スパルカ 氏 インドネシア バンドン工科大学教授
元副学長
高島 勲 氏 秋田大学名誉教授

（英語講演：高島氏による簡易通訳あり）

会場：秋田大学国際資源学部
附属鉱業博物館 講堂

〒010-8502 秋田市手形字大沢28-2 電話 018-889-2461

（入館・聴講ともに無料。事前申込は不要です。）

インドネシアは日本の約5倍の189万km²の面積を持ち、2億4千万人と東南アジア最大の人口を有する国であり、貿易や技術協力そして観光と日本との関係も深い。日本と同じ島国、火山国で、温泉・地熱発電などの利用面と災害という負の面でも共通項が多い。インドネシアでの火山研究の現状を解説するとともに、活動拠点となる大学の改革についても最近の動きを説明する。大学改革は世界的な動きであり、インドネシアでも社会とのつながりの重視、研究・教育評価の充実などが進められている。その改革を進めてきた立場からの率直な見解を表明する。日本でも大きく報道された大統領選挙の結果は、これまでの流れとは異なる庶民派候補が当選した。このような指導者の交代が及ぼす大学改革・研究そして社会全体への影響や選挙戦の様子などについて紹介する。



→ジャワ島中部のメラピ火山2007年噴火による被害。世界最大の火山国インドネシアでは、去年からスマトラ島のシナブン火山が噴火しており、同じ火山国日本との共同研究が実施されている。

→バンドン工科大学の特徴的な校舎。インドネシア有数の理工系大学であり、多数の留学生が在籍している。近年は、日本の大学分校（大学院）も設置されている。（秋田大学協定校）

